

# 司会原稿テンプレート 定期演奏会 | ① 開演前〜第1部

|                   |       |                     |              |
|-------------------|-------|---------------------|--------------|
| 団体名・公演名（第〇回定期演奏会） | 日付・会場 | 司会A／司会B・読む場所（上手／下手） | 進行表の版（〇月〇日版） |
|-------------------|-------|---------------------|--------------|

## ■ 場面別の原稿（上から時系列。使わない場面は飛ばしてOK）

**開演前の諸注意** **影アナ** 開演5分前。舞台袖または調整室から、客席に姿を見せずに読む **約176字・約35秒（ゆっくり約40秒）**

「本日は、〇〇高校吹奏楽部 第〇回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。開演に先立ちまして、お客様にお願い申し上げます。演奏中の写真撮影・録音・録画はご遠慮ください。携帯電話など音の出る機器は、電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。また、お席のご移動は、曲と曲の間をお願いいたします。開演まで、今しばらくお待ちください。」

これは司会ではなく影アナの原稿で、ここでは短縮版だけを載せています。非常口・飲食・補聴器などホールの規定文言があればそちらを優先してください。完全版（開場中・休憩・規制退場・撮影OKの差し替え）は影アナの原稿・例文集の記事とPDFにあります。

**開演の挨拶・自己紹介** **司会** 幕が開き、奏者が着席して拍手が収まったら。1曲目を先に演奏する型なら、その拍手のあと **約150字・約30秒（ゆっくり約35秒）**

「皆さま、本日は〇〇高校吹奏楽部 第〇回定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。本日の司会を務めます、〇年の〇〇と、〇年の〇〇です。どうぞよろしく願いいたします。私たち吹奏楽部は、この日のために〇月から練習を重ねてきました。今年は 部員〇名でお届けします。最後までどうぞお楽しみください。」

挨拶は60秒以内。「お客さんは演奏を待っている。前置きは短く、早く1曲目へ」が、司会の相談でいちばん多い答えです。部員紹介はここでやらず、第2部の企画が最後に回します。

**1曲目の紹介** **司会** 開演の挨拶に続けて。指揮者が入場する前に言い終える **約107字・約20秒（ゆっくり約25秒）**

「1曲目は、曲名。作曲家が〇〇年に作曲した行進曲／序曲です。華やかなファンファーレで始まるこの曲を、私たちは今日の幕開けにふさわしい1曲として選びました。それでは、〇〇高校吹奏楽部 第〇回定期演奏会、開幕です。曲名。」

1曲目は30秒以内。曲名は最初と最後の2回言います。最初は「情報」、最後は指揮者と照明への「合図」です。

**指揮者・顧問の紹介** **司会** 1曲目の拍手の中で。または第1部2曲目の前 **約133字・約25秒（ゆっくり約30秒）**

「ここで、本日の指揮者をご紹介します。〇〇高校吹奏楽部 顧問、〇〇先生です。先生は、私たちが入部したときから、音の一つひとつに「誰に届けたいか」を問いかけてくださいました。本日も、第1部と第3部の指揮を務めていただきます。〇〇先生、どうぞよろしく願いいたします。」

肩書きと名前の読みは本人に確認します。学生指揮者がいるときは「学生指揮の〇年 〇〇」と別に紹介。先生の紹介に添える言葉はエピソード1つに絞ると、長くならず伝わります。

**曲紹介の基本形** **司会** 前の曲の拍手が収まりきる直前にマイクへ歩き出し、収まったら話し始める **約127字・約25秒（ゆっくり約30秒）**

「続いては、曲名。①事実：〇〇年に、作曲家〇〇が〇〇のために書いた作品です。②情景：〇〇を描いた曲で、〇〇の場面から始まります。③自分たちの言葉：中盤の〇〇のソロは、私たちが練習でいちばん時間をかけた場所です。ぜひ耳を傾けてください。曲名、お聴きください。」

①は事実（間違えてはいけない）、②は情景、③は自分たちの言葉。③が無い曲紹介は「解説の読み上げ」になります。曲種別の実例と、③を作る3つの質問は下の例文集にまとめました。

**転換のつなぎ** **司会** 進行表の「転換（MC裏）」の行。舞台班の合図（手を上げる）が出るまで話す **約207字・約40秒（ゆっくり約50秒）**

「ここで、次の曲に向けてステージの準備をいたします。少々お時間をいただきます。（間）本日の演奏会は、3部構成でお届けしています。第1部ではクラシックと吹奏楽オリジナルを、第2部ではポップスステージを、そして第3部では今年のコンクール曲と、私たちがいちばん好きな曲を予定しています。第2部では、部員が衣装を替え、ソロやダンスも登場します。ぜひ楽しみにお待ちください。（舞台を確認）準備が整いました。続いては、曲名です。」

進行表の転換欄に「最低〇秒話す」と書いてもらいます。話し終わる前に転換が済んだら、最後の1文だけ読んで下がります。長引いたときに、予備の話題（練習の裏話・次の部の見どころ）を1つ持っておきます。

**第1部の締め** **司会** 第1部最後の曲の拍手が収まったら。幕は開いたまま、第2部への転換（約3分）の間 **約138字・約30秒（ゆっくり約35秒）**

「以上で、第1部を終わります。ありがとうございました。ただいまより、第2部に向けてステージの準備を行います。そのまましばらくお待ちください。第2部は、ポップスステージ。普段のコンクールでは見られない、歌って踊る吹奏楽部をお見せします。準備が整いましたら、改めてご案内いたします。」

3分を超える転換は暗転か幕で隠します（進行表の記事の「MC裏・暗転・休憩」の早見表）。司会は舞台の準備状況が見える位置に立ち、客席に背を向けないようにします。

**読み方：** 思っている1.5倍ゆっくり・少し低め・文末で止まる。曲名は最初と最後の2回。（間）（舞台を確認）は読まない指示。原稿の作り方・曲種別の例文：set-zu.jp/guide/teiki-ensoukai-shikai-genko/

## 場面別の原稿（続き）

**企画コーナーの導入** **司会** 転換完了の合図を受けて。照明の色が変わるタイミングと合わせる

約110字・約20秒（ゆっくり約25秒）

「お待たせいたしました。第2部、**ポップスステージ**の始まりです。ここからは、**「旅」**をテーマに**〇曲**をお届けします。**衣装も音も、第1部とは少し雰囲気を変えて**お楽しみいただきます。手拍子も大歓迎です。それでは、第2部1曲目、**曲名**。」

テーマは一言で（「旅」「映画音楽」「平成ヒット」）。企画ステージは「客席にどう参加してほしいか」を司会が先に言うと、1曲目から客席が動きます。

**ソロ・アンサンブル** **司会** 小編成の椅子・譜面台の移動が終わり、奏者が定位置に着いてこちらを見たら

約115字・約25秒（ゆっくり約30秒）

「続いては、**サクソス四重奏**をお届けします。演奏は、**〇年〇〇、〇年〇〇、〇年〇〇、〇年〇〇**。**この曲は〇月のアンサンブルコンテストで演奏した曲で、4人の息を合わせるのにいちばん苦労したのが、冒頭の〇〇です**。**曲名**、お聴きください。」

名前は学年とフルネームで、読みは本人に確認。奏者が全員定位置に着く前に名前を読み始めると、拍手の場所がずれます。

**休憩の案内** **司会** 第2部最後の曲の拍手が収まったら。客電が上がる前に言い終える

約139字・約30秒（ゆっくり約35秒）

「以上で、第2部を終わります。ありがとうございました。ここで、**15分間**の休憩をいただきます。第3部の開演は、**〇時〇分**を予定しております。ロビーでは**アンケートの回収とパンフレットの配布**を行っております。**お手洗いは、ロビーを出て左手にございます**。**〇時〇分**までに、お席にお戻りください。」

再開は「〇分後」ではなく「〇時〇分」と時刻で言います。再開5分前の呼び込みは影アナの仕事（影アナ記事の休憩原稿）。休憩中は転換（ひな壇・ピアノ）が走るので、司会は舞台上に残りません。

**休憩明け・第3部へ** **司会** 影アナの「2分前」のあと、奏者が着席し、指揮者が入場する前

約117字・約25秒（ゆっくり約30秒）

「お待たせいたしました。これより、第3部を始めます。**第3部では再び正装に戻り、私たちが今年いちばん時間をかけてきた〇〇をお届けします**。**〇年生にとっては、この舞台が最後の定期演奏会です**。最後までどうぞお楽しみください。第3部1曲目、**曲名**。」

「3年生は最後」をここで言うなら、部長挨拶で同じことを繰り返さないように役割を分けます。言うのは1回で十分です。

**賛助・OB・OG紹介** **司会** その方々が舞台にいる曲の前。立ってもらう合図を事前に決めておく

約135字・約25秒（ゆっくり約30秒）

「ここで、本日の演奏会に賛助出演いただいている皆さんをご紹介します。**〇〇大学吹奏楽団**より**〇名**、そして本校吹奏楽部の**OB・OG**の皆さんです。**〇〇パート**には、**〇年卒業の〇〇さん**にも加わっていただいています。皆さん、本日はありがとうございます。盛大な拍手をお願いいたします。」

人数が多いときは団体名だけ、少ないときは名前まで。所属と敬称（さん／先生）は本人に確認します。紹介のあとに拍手の間（3秒）を進行表に入れておきます。

**部長挨拶への振り** **司会** 第3部最後の曲の前、または本編最後の曲のあと。部長がセンターマイクに着くまで司会は下がらない

約37字・約5秒（ゆっくり約10秒）

「ここで、部を代表して、部長の**〇年〇〇**より、皆さまへご挨拶を申し上げます。」

振りは1文で十分です。部長が歩いている間の無音は、司会がマイクの前に立っていれば「間」として成立します。

**部長挨拶の型** **部長** ピンスポットが当たったら。90～120秒。言葉が詰まる「間」のぶん、進行表に30秒足しておく

約254字・約50秒（ゆっくり約1分）

「本日は、**〇〇高校吹奏楽部 第〇回定期演奏会**にご来場いただき、誠にありがとうございます。部長の**〇〇**です。**私たち〇年生にとって、この演奏会が最後のステージです**。**今年は、コンクールで思うような結果が出せず、悔しい思いもしました。それでも、この演奏会に向けて、部員〇名全員で音を揃えてきました**。日ごろから支えてくださる**顧問の〇〇先生**、保護者の皆さま、**OB・OGの先輩方**、そして今日お越しいただいた皆さまに、心からお礼を申し上げます。残りの曲も、私たちの精いっぱいの音でお届けします。最後まで、どうぞお楽しみください。」

型は4段：お礼→この1年→支えてくれた人→次の曲へ。固有名詞（先生の名前・何月の何）を入れた瞬間に、挨拶は「自分の言葉」になります。

第3部の冒頭で「3年生は最後」と言うなら、部長挨拶で繰り返さない。賛助・OB・OGの所属と敬称は本人に確認。紹介のあとの拍手の間（3秒）を進行表に入れる。

司会原稿テンプレート

定期演奏会 | ③ 終演・短縮版・差し替え文

削れるのは曲と司会の話す量だけ。  
切り替える場面を先に決める  
(例：5分押し → ③⑤⑧を短縮版に)

本編最後の曲

司会

部長挨拶のあと、または本編最後の曲の直前

約122字・約25秒 (ゆっくり約30秒)

「いよいよ、本編最後の曲となりました。曲名。作曲家が〇〇年に書いた作品です。この曲は、私たちが〇月から取り組んできた、今年の集大成です。〇年生は、この曲でステージを降ります。〇〇高校吹奏楽部 第〇回定期演奏会、本編最後の曲、曲名。お聴きください。」

「最後の曲」ではなく「本編最後の曲」。アンコールを隠す必要はありませんが、「本編」と言えば自然に次がある合図になります。

アンコール

司会

拍手が続いている間に。指揮者が再登場する前

約68字・約15秒 (ゆっくり約15秒)

「ありがとうございます。皆さまの拍手に応えて、もう1曲、演奏させていただきます。アンコールは、曲名。皆さまも、ぜひ手拍子で一緒に聴きましょう。」

アンコールは椅子を動かさない曲を選びます。2曲あるときは2曲目の前で「本当に最後の1曲です」と言うのが終演の合図。拍手が無いときの決め（〇秒待って無ければ終演へ）は進行表に書きます。

終演・お見送り

司会

アンコールのあと、客電が上がったら。司会が舞台で読むか影アナが読むかは進行表で決める

約156字・約30秒 (ゆっくり約35秒)

「以上をもちまして、〇〇高校吹奏楽部 第〇回定期演奏会のすべてのプログラムを終了いたします。本日は、ご来場いただき、誠にありがとうございました。部員一同、ロビーにてお見送りをいたします。お忘れ物のないよう、お足元にお気をつけてお帰りください。アンケートは、ロビーの回収箱へお願いいたします。ありがとうございました。」

「すべてのプログラムを終了」が終演の合図で、ここでアンコール待ちの手拍子が止まります。混雑時のブロック別の客出しは規制退場の記事と影アナの原稿へ。

押したときの短縮版（13場面）

| 場面         | 短縮版（押したとき）                                                                                                 | 目安   |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 開演の挨拶・自己紹介 | 「皆さま、本日は <u>〇〇高校吹奏楽部 第〇回定期演奏会</u> にお越しいただき、ありがとうございます。司会を務めます <u>〇〇</u> です。最後までどうぞお楽しみください。」               | 約15秒 |
| 1曲目の紹介     | 「1曲目は、 <u>作曲家</u> の <u>曲名</u> 。開幕にふさわしい1曲です。どうぞ。」                                                          | 約5秒  |
| 指揮者・顧問の紹介  | 「本日の指揮は、顧問の <u>〇〇先生</u> です。どうぞよろしくお願いいたします。」                                                               | 約5秒  |
| 曲紹介の基本形    | 「続いては、 <u>作曲家</u> の <u>曲名</u> 。 <u>聴きどころを1文</u> 。どうぞ。」                                                     | 約5秒  |
| 転換のつなぎ     | 「次の曲に向けて、ステージの準備をいたします。 <u>第2部はポップスステージ。衣装も替わります</u> 。（舞台を確認）それでは、 <u>曲名</u> です。」                          | 約10秒 |
| 第1部の締め     | 「以上で第1部を終わります。ありがとうございました。このまま第2部の準備に入ります。しばらくお待ちください。」                                                    | 約10秒 |
| 企画コーナーの導入  | 「お待ちせいたしました。第2部の始まりです。手拍子也大歓迎。 <u>曲名</u> 、どうぞ。」                                                            | 約5秒  |
| 休憩の案内      | 「以上で第2部を終わります。 <u>15分</u> の休憩です。第3部は <u>〇時〇分</u> 開演です。」                                                    | 約5秒  |
| 休憩明け・第3部へ  | 「お待ちせいたしました。第3部を始めます。1曲目は <u>曲名</u> です。」                                                                   | 約5秒  |
| 部長挨拶の型     | 「本日はご来場いただき、ありがとうございます。部長の <u>〇〇</u> です。 <u>この1年、支えてくださったすべての方</u> に感謝しています。残りの曲も精いっぱい演奏します。最後までお楽しみください。」 | 約15秒 |
| 本編最後の曲     | 「本編最後の曲です。 <u>曲名</u> 。今年の集大成を、お聴きください。」                                                                    | 約5秒  |
| アンコール      | 「ありがとうございます。アンコール、 <u>曲名</u> 。」                                                                            | 約5秒  |
| 終演・お見送り    | 「以上で、すべてのプログラムを終了いたします。本日はありがとうございました。お忘れ物のないよう、お気をつけてお帰りください。」                                            | 約10秒 |

当日の差し替え・追加の文

| 状況     | 差し替え・追加の文                                                                                  | メモ                                  |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 雨天・荒天  | 「本日は足元の悪いなか、ご来場いただきありがとうございます。お帰りの際は、傘のお忘れ物と、お足元にお気をつけください。」                               | 開演の挨拶と終演に1文ずつ足す                     |
| 開演が遅れる | 「開演時刻についてご案内いたします。 <u>準備のため</u> 、開演を <u>〇分</u> ほど遅らせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、今しばらくお待ちください。」   | 影アナが読む。理由は短く、謝罪は1回。読めないときは「準備が整い次第」 |
| 機材トラブル | 「ただいま、 <u>ピアノの調整</u> を行っております。もうしばらくお待ちください。（間） <u>お待ちいただいている間に、次の曲のお話を少しだけ</u> 。」         | 司会が舞台にいるなら生でつなぐ。予備の話題へ              |
| 曲順の変更  | 「プログラムに変更がございます。 <u>第2部〇曲目</u> に予定しておりました <u>曲名</u> は、 <u>都合により 第3部</u> で演奏いたします。ご了承ください。」 | 「どこで演奏するか」まで言う。カットは「演奏いたしません」と明言    |
| 体調不良の方 | 「ご気分のすぐれないお客様は、お近くの係員にお声がけください。」                                                           | 気づいたら曲間に1文。進行は止めない                  |
| 忘れ物の案内 | 「お忘れ物のご案内です。 <u>〇〇</u> をお預かりしております。お心当たりの方は、 <u>受付</u> までお越しください。」                         | 休憩明けが終演で。品物は特徴だけ、中身は言わない            |
| 撮影OKの日 | 「本公演は、 <u>第2部のみ</u> 、スマートフォンでの写真撮影を許可しております。フラッシュと動画の撮影はご遠慮ください。」                          | 諸注意の「撮影NG」を差し替える。許可する範囲を一文で         |

# 曲紹介の型と曲種別の例文

定期演奏会の司会

曲紹介は①事実→②情景→③自分たちの言葉の3文。  
①②は借りてよい。③だけは誰にも借りられない

「続いては、**〔曲名〕**。」＋①**事実の1文**（いつ・誰が・何のために）＋②**情景の1文**（どんな場面・リズム・雰囲気）＋③**自分たちの言葉の1文**（この部にしか言えないこと）＋「**〔曲名〕**、お聴きください。」＝120～180字・約25～35秒  
③を作る3つの質問：この曲でいちばん好きな場面は？／練習でいちばん時間がかかった場所は？／お客さんに「ここを聴いて」と言える16小節は？→  
答えのどれか1つを1文にする。①の年号・作曲者はスコアで確認してルビを振る

## 曲種別の例文（③の下線を自分たちの言葉に置き換える）

### マーチ

星条旗よ永遠なれ

約185字・約35秒（ゆっくり約45秒）

「続いては、星条旗よ永遠なれ。アメリカの作曲家ジョン・フィリップ・スーザが1896年に作曲した行進曲で、「マーチ王」と呼ばれた彼の代表作です。アメリカでは国の公式行進曲に定められ、式典や祝祭の場で今も演奏され続けています。後半で高らかに鳴るビッコロと、低音の対旋律のかけ合いは、私たちが何度も合わせ直した場所です。ぜひ耳を傾けてください。星条旗よ永遠なれ、お聴きください。」

s1は年と作曲家だけで十分。s3の「何度も合わせ直した」が、この部にしか言えない1文。

### コンクール課題曲

風紋

約162字・約30秒（ゆっくり約40秒）

「続いては、風紋。保科洋が作曲し、1987年度の全日本吹奏楽コンクール課題曲として発表された作品です。風が砂の上に残す模様、「風紋」を題名にもち、静かな序奏から次第に音の層が重なっていきます。私たちは今年のコンクールでこの曲に挑みました。あのときより少し大人になった音を、聴いていただけたらうれしいです。風紋、お聴きください。」

課題曲は「〇年度の課題曲」が事実の1文。知恵袋の添削でも「それを足せ」が最初の指摘でした。

### 吹奏楽オリジナル

アルヴァマー序曲

約181字・約35秒（ゆっくり約45秒）

「続いては、アルヴァマー序曲。アメリカの作曲家ジェームズ・バーンズが1981年に作曲した序曲です。「アルヴァマー」はバーンズの地元カンザス州にあるゴルフ場の名前で、明るく開放的な主題と、中間部のゆったりとした旋律が対比をなします。中間部の木管の歌を、どれだけ長く息でつなげるか。練習で何度も言われた言葉です。今日は一息で届けます。アルヴァマー序曲、お聴きください。」

題名の由来は、聞き手が「へえ」と言える情景の1文になる。

### ポップス

宝島

約162字・約30秒（ゆっくり約40秒）

「続いては、宝島。T-SQUAREの和泉宏隆が1986年に作曲し、真島俊夫の編曲で吹奏楽の定番となった1曲です。サンバのリズムに乗って、ステージも客席も自然と体が動き出す、吹奏楽ポップスの代表曲です。中盤のソロは、〇年の〇〇。本番でどこまで吹ききるか、私たちも楽しみにしています。手拍子で一緒にください。宝島、お聴きください。」

ポップスは「作曲者と編曲者」を両方言う。s3でソロの奏者名を出すと、客席の視線がそこに集まる。

### 映画・アニメ

ルパン三世のテーマ

約182字・約35秒（ゆっくり約45秒）

「続いては、ルパン三世のテーマ。作曲は大野雄二。1977年に放送が始まったテレビアニメ「ルパン三世」のために書かれた曲です。ジャズの香りがするベースラインと、きらびやかなトランペットのテーマで、世代を越えて知られる1曲になりました。今日はトランペットパート全員で、ルパンの「決め」を吹きます。立ち上がったなら、拍手で迎えてください。ルパン三世のテーマ、お聴きください。」

客席の世代が広い定演では、「いつ・何で流れた曲か」が一番伝わる事実。

### ソロ・協奏曲

曲名

約101字・約20秒（ゆっくり約25秒）

「続いては、曲名。〇〇年に、〇〇が〇〇のために書いた作品です。独奏の〇〇と吹奏楽の伴奏がかけ合いながら進んでいきます。ソロは〇年の〇〇。〇月から朝練で磨いてきた音を、聴いてください。曲名、お聴きください。」

ソロ曲はs3が主役。奏者の名前・学年・練習の事実を1つ。

### アンコール・合唱

翼をください

約145字・約30秒（ゆっくり約35秒）

「続いては、翼をください。1971年にフォークグループ「赤い鳥」が発表した曲で、作曲は村井邦彦です。教科書にも載り、学校の合唱で歌った方も多いのではないのでしょうか。今日は、皆さまにも歌っていただきたいと思います。1番の歌詞は、プログラムの最後のページにあります。翼をください、お聴きください。」

客席参加型は「何をしてほしいか」をs3で具体的に。歌詞の場所まで言う。

1曲1枚の記入シートで**原稿と進行表が同時にできる**。  
秒数は「歩き出してから下がるまで」  
(読む時間+前後5秒)

# 記入シート・秒数早見・言い換え・チェック

定期演奏会の司会

## 曲紹介の記入シート（1曲1枚。コピーして使う）

| 項目       | 書くこと            | 記入欄（薄字は例）             |
|----------|-----------------|-----------------------|
| 曲名（ルビ）   | 正式名称。副題・編曲版の表記も | 宝島（たからじま）             |
| 作曲・編曲    | 読みを添える。編曲者も必ず   | 和泉宏隆 作曲／真島俊夫 編曲       |
| ①事実の1文   | いつ・誰が・何のために     | 1986年にT-SQUAREの和泉宏隆が… |
| ②情景の1文   | どんな場面・リズム・雰囲気   | サンバのリズムに乗って…          |
| ③自分たちの1文 | 3つの質問の答えから1つ    | 中盤のソロは○年の○○…          |
| 字数／秒数    | 合計字数と秒数（1分300字） | 約160字／約32秒            |
| 進行表の番号   | 「司会①②…」と一致させる   | 司会A 曲紹介③              |
| 転換の有無    | MC裏で動かすなら最低秒数   | 椅子2脚移動・最低40秒          |

## 読み上げ秒数の早見表

| 字数   | 標準 1分300字 | ゆっくり 1分250字 |
|------|-----------|-------------|
| 50字  | 約10秒      | 約12秒        |
| 100字 | 約20秒      | 約24秒        |
| 150字 | 約30秒      | 約36秒        |
| 200字 | 約40秒      | 約48秒        |
| 250字 | 約50秒      | 約60秒        |
| 300字 | 約60秒      | 約72秒        |
| 400字 | 約1分20秒    | 約1分36秒      |

## 場面別・1回の目安

| 場面      | 目安      | 入れる内容                  |
|---------|---------|------------------------|
| 開演の挨拶   | 40～60秒  | お礼・自己紹介・1曲目へ。部員紹介は入れない |
| 曲紹介     | 20～40秒  | 事実・情景・自分たちの言葉の3文       |
| 転換のつなぎ  | 進行表の指定  | 転換が終わるまで。予備の話題を1つ      |
| 休憩の案内   | 20～30秒  | 分数・再開時刻・ロビーの案内         |
| 賛助・OB紹介 | 30～40秒  | 所属・名前・一言。拍手の間3秒        |
| 部長挨拶    | 90～120秒 | お礼・この1年・支えてくれた人・次の曲へ   |
| アンコール   | 10～20秒  | お礼と曲名だけ                |
| 終演      | 20～30秒  | お礼・お見送り・忘れ物            |

## 言いがちな表現と言い換え

| 言いがちな表現   | なぜ弱いか                              | 言い換え                               |
|-----------|------------------------------------|------------------------------------|
| 「～と思います」  | 言い切らないと情報が弱くなる。3回続くと全部が推測に聞こえる     | 「～です」「～しました」と言い切る。感想だけは「～と思います」でよい |
| 「えー」「あー」  | 原稿にない音は、聞き手には「迷っている」に聞こえる          | 原稿に「(間)」と書く。息を吸う場所を先に決める           |
| 「お聴きください」 | 毎回同じ締めだと、曲紹介が全部同じに聞こえる             | 「どうぞ」「演奏いたします」「お楽しみください」を場面で回す     |
| 「有名な曲です」  | 有名かどうかは聞き手が決める。情報量がゼロ              | 「○年の映画○○で使われた」「教科書にも載っている」と具体的に    |
| 解説の丸写し    | 司会の相談でいちばん多い指摘。読む本人が理解していないと本番で詰まる | ①事実は1文だけ借りる。②③は自分たちの言葉で書く          |
| 「練習不足ですが」 | 客席が粗を探し始める。保険をかけた瞬間に演奏の価値が下がる      | 言わない。「精いっぱい演奏します」に                 |
| 読みがあいまい   | 作者名や外国語の曲名を言い直すと、原稿全体の信用が落ちる       | スコアと本人に確認して、原稿にルビを書く               |
| 「それでは」連発  | 接続語が毎回同じだと、文の切れ目が聞こえない             | 「続いては」「次の曲は」「ここで」を場面で使い分ける         |

## 読む前のチェック

- ☐ 曲名・作者・編曲者の読みをスコアで確認し、原稿にルビを書いた
- ☐ MC裏で転換する場面に「最低○秒」と書いてある
- ☐ 顧問・指揮者・賛助の名前と肩書きを本人に確認した
- ☐ 雨天・遅延・曲順変更の差し替え文を手元に置いた
- ☐ マイクの位置・立ち位置・出入りする袖（上手／下手）を決めた
- ☐ 進行表の「司会①②…」と原稿の番号が一致している
- ☐ 曲紹介の③が自分たちの言葉になっている（解説の丸写しでない）
- ☐ 押したときに短縮版へ切り替える場面を決めてある
- ☐ 声に出して通し読みし、秒数を測った
- ☐ 原稿は紙で2部（予備）、ページ番号を入れた